

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年3月31日

【評価実施概要】

事業所番号	1172100347
法人名	株式会社ウェルフェアシステム
事業所名	グループホームつつじの里
所在地	351-0033 埼玉県朝霞市浜崎4-1-64 (電話) 048-485-2378

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年3月11日

【情報提供票より】(20年2月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年6月1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	22 人	常勤 12人, 非常勤 10人, 常勤換算	19.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り		
	3 階建ての	1 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	10,000円 + 実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (120,000円)	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1月当たり40,000円			

(4) 利用者の概要(2月15日現在)

利用者人数	22 名	男性 7 名	女性 15 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名
要介護3	8 名	要介護4	6 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 80 歳	最低 61 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

駅から徒歩15分ほどの住宅地の一角に位置し、門の前は駅までのバスの停留所になっている。3階建ての3ユニットであり各階の建物はほぼ同じ構造になっている。職員は工夫しながらも外出の機会を増やそうと努めている。歩いて5分ほどのところに土手があり、花見の季節には利用者と職員全員でお花見会をしているが、普段でもこの場所はお散歩コースとしてよく出かけている。要介護状態の入居者が多く、介護に費やす時間も多いが、ホームとしては家庭的な雰囲気を保ちながら支援している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の改善課題で、住民に向けた広報への積極的な取り組みが期待されたが、運営推進協議会の開催により、地域民生委員や他の委員の意見が反映され、中学生の職場体験実習や地域の小学校の運動会への招待など、少しずつ地域との繋がりができてきている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>人材不足からケアの一貫した指導が困難であり、一部の取り組みにおいて、継続課題が残されているが、職員は利用者の気分転換を図るための外出支援や傾聴など、日々のケアのなかでできるだけ利用者の意向に沿った取り組みをしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>ホームでの利用者の生活状況や理念などを説明し、地域住民の方に理解を求めている。構成メンバーの中に民生委員がいるので災害時の協力などを依頼している。また教育委員会に出向き、小学校の行事への参加、中学生の職場体験実習などを受け入れている。ボランティアとしてハワイアンや舞踊のサークルにも協力してもらうなど、運営推進委員会での意見が尊重されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>利用者一人ひとりの日常での様子(健康状態、生活状態、変化など)を細かく、たよりとして報告している。家族のいない利用者もいるので行政などに報告しながら連携している。家族からの苦情は特にないが、指摘事項や改善事項にはその都度連絡して話し合いながら対応している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>住宅街の一角に位置しており、交通量も多いので、職員の業務時間に合わせ、一緒に散歩をすることが多い。住民の方に声をかけられることもしばしばあり、挨拶を交わしたり、時にはお花をいただいってくることもある。近くにコンビニや大型スーパーなどもあり、散歩を兼ねて日用品を買いに行くことが日常的に行われている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営方針並びに運営理念が作られている。職員がすぐ目に付きやすい台所や、来訪者にもわかるように玄関などに掲示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「1・ハンドtoハンド いつもぬくもりを感じるあったか介護」「2・いつも笑顔で大きな声が飛び交う元気なホーム」という理念を職員間で共有し、日々のケアの中で実践されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、回覧版を回したり、年に2回ほどある地域の清掃にも利用者と職員が一緒に参加している。散歩の時には挨拶を交わしたり、近所付き合いも含め、地域の人々との交流がもたれている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価をすることによりケアの見直しを図り、また外部評価の改善項目については運営推進会議でも報告されている。職員、家族がいつでも閲覧できるように玄関のボックスに外部評価票が入っている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1回開催されている。会議には民生委員、市から委託を受けている地域包括支援センターの主任ケアマネージャー、家族、利用者、職員などが参加している。会議で出された意見を尊重し、地域のボランティア、中学生の職場体験なども受け入れている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	介護保険の更新の為に認定調査や介護保険課からの入居についての問い合わせ、また福祉課との連絡調整なども随時行われており、市町村との連携が図られている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	利用者の日常の様子がわかるように生活状況や往診状況等を定期的に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情や意見に対する窓口(県、市町村などの苦情解決窓口)を明記した掲示物を貼り出すことで、家族等が安心して意見を表せる機会をつくっている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	退職する職員が自ら挨拶し円満退社ということもあり、利用者が心理的に動揺するということはない。管理者も伝えられる範囲で利用者には伝え、ダメージを防ぐための取り組みをしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	参加できそうな研修や必要と思われる内容の研修については職員に周知している。新規採用職員については1ヶ月ほど、職場内でのトレーニングワークの中で介助技術や接遇などが習得できるように指導し、働きながらの職員育成に努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域内での同業者との交流の機会はまだ持たれていない。		今後は同業者との交流を持ち、相互に連携することで、具体的な取り組みを行い、サービスの向上につながることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>食器やテレビ、仏壇の持ち込みは可能であり、入居前の生活が継続されている。環境の変化に伴う不安を柔らげる為に、常に職員の目が行き届くように、台所に近い部屋を用意するなどの配慮がされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>昼食前や入浴後、また、職員が比較的落ち着ける時間を見計らって、出来るだけ利用者と共に過ごす時間を作っている。その中で編み物をしたり、話を聞いたり、散歩を一緒にしている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の望む生活は、利用者の希望や思いをできるだけ叶えられるよう努め、個人の思いを重視している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成担当者は利用者から直接ヒアリングを行い、計画を作成している。月に1回、全員が出席する会議の中で話し合われる日々の様子は、介護計画や介護の見直しに活かされている。家族や本人からもその意向については確認している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々のケアの様子から見直しすべき課題や目標が必要と思われるときは、家族に報告し、家族の考えを聞きながら新たな課題を設定のうえ日々のケアに取り組んでいる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	住宅地に位置しているホームの特性を最大限活用しながら、散歩を兼ねて近くのコンビニへ買い物に行ったりしている。また、風邪の初期症状の受診などは日常的に行われている。3ユニットあるため、職員の緊急の用事が発生した時などは、すぐに対応出来る体制で支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回提携医の往診が実施されている。定期健診は今のところ実施されていないが、いつでも受診できるようになっており、検査の為の受診や、急な熱発などのときも受け入れられる体制になっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	職員体制の確保、連絡の取れない家族との問題など課題が多く、情報の共有や実施への取り組みは困難であるが、会議では終末期に向けたケアの方針について話し合われている。		取り組む課題は多いと思うが、かかりつけ医や家族などを交え、対応方針を検討することを期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	通常使用する日報などについては職員がいつでも見ることが出来るように台所の棚に保管されている。個別台帳などについては事務所に施錠され保管されており、個人情報の保護に努めている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調の変化などにはすぐに対応出来るようにしている。食欲不振の時なども、本人の好みやそのときに食べたいものを把握し、出来るだけ本人の希望や意向にそって支援するようにしている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	体調のすぐれない利用者がある際は、職員が個別に食事介助をすることもあるが、通常は職員も一緒に食事をし、会話をしながら賑やかな雰囲気づくりができています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間については、入浴時の緊急事態発生を考え、職員数が満たされている時間帯を設定している。利用者の入浴の可否については本人の意向に合わせている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居した時から自分で出来そうな掃除や食後の片付けなどは手伝ってもらい、一人ひとりに合った役割の支援をしている。好まない方には無理強いをせずにその時々に応じた対応をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くに土手があり散歩コースになっている。その他コンビニや、少し離れたところに大型スーパーがあるので、ドライブを兼ねた外出をしている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の前が道路になっており交通量も多く、利用者の安全面を重視し、家族にも同意を得て施錠をしているが、外出の希望があった時や、気分転換を図る為の外出支援は充分に行なわれている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時に備えての実施訓練や避難訓練は毎年行われている。毎日、業務終了時には、ガスの点検、施錠の点検などの自主防災チェックリストを作成し記録している。また、事務所や台所など目につきやすいところに緊急時や災害時の連絡マニュアルが貼り出されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々、一人ひとりのバイタルや水分補給、排泄記録などはチェックされている。その日の食事の内容から量が少ないと思われた時は、他の時間でも、量を補充する意味でプリンなどを提供することもある。一人ひとりの状態に応じて量を減らすなど調整している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間である居間にはソファが置かれていて入浴前や食事の後などに職員と一緒に会話を楽しんでいる。玄関はガラス張りであり明るく、来客者がすぐわかるようになっている。台所は対面式になっているので食堂兼居間からも中の様子がわかり、台所からも居間の様子がわかるように工夫されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室には備え付けのベッドの他、クローゼットが置かれている。入居前に使用していた家具などの持ち込みも自由であり、馴染みの物を活かした部屋づくりが可能である。希望があった場合は、家族の宿泊も受け入れることができる。		